

## 4 学校研究

### 1. 研究テーマ

主題 「大地と人に学び 主体的に考え 心豊かでふるさとを愛する心の育成 」

副題 「アクティブ・モラル・ラーニングを通して考え、話し合う道德の指導法の工夫」

### 2. 主題設定の理由

本校は、平成 17 年度に文部科学省「児童生徒の心に響く道德教育事業」の指定を受けて研究発表会を行い、学校全体で道德教育を推進してきた。平成 26・27 年度は、「いしかわ 人と地域を生かした道德教育講座」の指定を受けて、学校はもちろん保護者や・地域と連携した道德教育の充実に努めてきた。

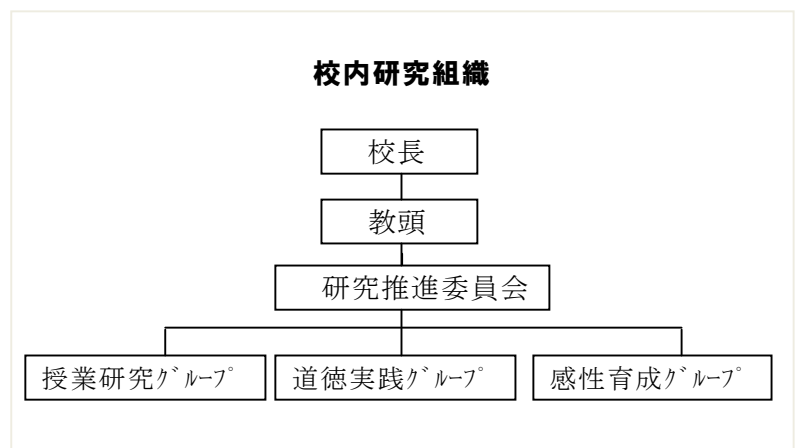
平成 27 年 4 月に学習指導要領の一部が改正され、「特別の教科 道德」（道德科）が設定された。いじめ問題の根絶や生徒の自尊感情を高めるため道德教育の一層の充実につとめて、人間性に深く迫り、道德的実践力を高めることが期待されている。

そこで、本校は豊かな自然・住みやすい社会環境・学校環境を生かし、道德科で実践と検証を重ねてきた。内面的な資質である道德性を、自分で考え、話し合い、自分を振り返ることで、主体的な道德行為や実践につながるよう研究を進めている。授業では「アクティブ・モラル・ラーニング」理論を実践する。教材のねらいと生徒の課題意識を大切に「思考課題」を設定する。これに対し、自分の経験を生かし、考えを持ち、話し合い活動を通して、アクティブ（能動的）に学び、多面的・多角的に考えることができるように工夫したい。地域教材やゲストティーチャー、ICT活用を引き続き積極的に活用したい。

学校全体で道德教育を進めるため、道德科を要として各教科や諸活動を関連させて指導したい。また、授業研究だけでなく、道德的実践や感性を育成するように推進組織を工夫し、主体的に考え判断し、人を思いやり心豊かでふるさとを愛する心の育成を行いたい。

### 3. 道德重点指導目標

- ア 豊かな感性
- イ 人を思いやり協働の心
- ウ ふるさと愛
- エ 目標を持ち、粘り強くやり遂げる心



### 4. 研究方針

- ① アクティブ モラル ラーニングの指導法を開発し、問題解決的な学習を通して多面的・多角的に考える道德・話し合う道德をめざし、よりよく生きる道德性を養う。
- ② 人や地域を生かし、他の教科・体験活動と関連づけて、人を思いやり郷土を愛する道德的心情を養う。
- ③ アクティブ ラーニングを全教科で研究実践し、言語活動を充実させ、能動的に学び合う学習集団をつくり、活用力を高める。
- ③ 学校全体で道德教育推進体制を確立し、組織的・計画的に研究を行い、石川大会では、全学級で授業公開・研究協議を行い、研究を深める。

研究主題1

「大地と人に学び 主体的に考え 心豊かでふるさとを愛する心の育成」

～アクティブ・モラル・ラーニングを通して考え、話し合う道徳の指導法の工夫～

重点目標

ふるさと愛

豊かな感性

思いやりと協働

ねばり強くやり遂げる心

研究のねらい

- 他者の多様な考えを感じ取り、自他の尊さを受け止めていく。
- 自分の考えを他者に伝えたり、主張したりする力を高める。
- ふるさとや自分のまちを愛する気持ちを育む。

自分の力で考え、判断し、よりよく生きていこうとする。

研究内容

道徳実践グループ(生徒指導部)

- あいさつ運動
- ボランティア活動
- 体験活動
- 生徒会活動、学校行事
- 生徒総会準備、運営
- 生活規律の確立
- ネット依存症対策
- Stop the いじめ集会

授業研究グループ(教務部)

- 研究計画、校内研修会
- 教材・資料の収集
- 授業改善
- 教員向けオリエンテーション
- 生徒向けオリエンテーション
- 保護者向け道徳教育講座
- 学校公開日・授業公開
- 授業交流週間

感性育成グループ(環境文化部)

- 健康な心身づくり
- 校内環境・美化整備
- 気づき清掃
- 食育
- 環境教育(節水、節電)
- 観劇、鑑賞教室
- 学校美術館

研究の視点

授業研究

- ・アクティブ モラル ラーニング
- ・思考課題の工夫
- ・話型モデルの提示
- ・他教科とのリンク
- ・体験活動の充実

ユニバーサルデザイン

- ・焦点化(思考課題)
- ・視覚化(構造的な板書)
- ・共有化(話し合い・グループ学習)
- ・板書の構造化
- ・ICTの効果的な活用

家庭・地域との連携

- ・家庭の教育力の活用
- ・人材・自然・社会環境
- ・地域で活躍する方々との連携
- ・家庭との連携
- ・保護者参加型授業

いしかわ学びの指針12か条【学びの12か条+】

- 1 物事を多様な観点から考察する力の育成
- 2 自ら課題を発見し、主体的・協働的に課題を解決する力の育成 (AL)
- 9 家族や地域の人々とのコミュニケーションを促進し、家庭・地域・社会と結び付いた学びの推進
- 12 保護者・地域との積極的な情報共有・連携の推進

◇年間計画◇

4月	<p>4日(月) 教員オリエンテーション (入学式後)</p> <p>15日(金) 保護者道徳教育講座 ・白木氏</p> <p>22日(金) 校内研修会 ・白木氏(アクティブ・ラーニングの説明と研究の概要)</p> <p>28日(木) 生徒オリエンテーション(生徒総会后) ・あいさつ/授業辰人=規律 ・3年生が手本となる学校/道徳授業のステップアップ</p>
5月	<p>中旬 ～下旬 ○校内研修会 ・全国大会に向けて(各グループの担当、準備内容の確認)</p>
6月	<p>9日(木) 校内研修会 ・白木氏 研究授業(1年)</p> <p>○授業交流週間(AL) ○学校公開日・授業公開</p>
7月	<p>7日(木) 校内研修会 ・白木氏 研究授業(3年)</p>
8月	<p>○教材研究・指導案検討会 ○全国大会に向けて準備(環境整備、教材、配布資料など)</p>
9月	<p>20日(火) ○要請訪問 ・5限 研究授業(1, 2, 3年) ・6限 授業整理会</p> <p>○授業実践、検証 ○環境整備</p>
10月	<p>○10月に向けての準備、調整など</p> <p><b>27日(木) 全国大会発表</b></p>
11月	<p>11日(金) ○計画訪問</p>
12月	<p>○校内研修会(資料の整理など)</p>
1月	<p>○校内研修会(来年度へ向けて)</p>
2月	<p>○校内研修会(総括)</p>